

平成 29 年度未成年者の飲酒・喫煙防止についての調査【結果概要】

島根県 健康推進課
心と体の相談センター

1. 実施状況

- 健康長寿しまね推進計画の中間評価、島根県アルコール健康障がい対策推進計画の新規策定のためそれぞれ別々実施していた未成年者対象の調査を一本化し、教育委員会の協力のもと実施。
- 調査対象校の選別は教育委員会に一任（非公表）し、7月に調査終了
 - 小学生：各圏域5・6年生200人
 - 中学生：各圏域2年生 200人
 - 高校：分校、定時制、通信制を除く34校の2年生

【集計数】

	小学生（再掲）				中学生 (2年生)	高校生 (2年生)
	小学生	5年生	6年生	学年不明		
配布数	1604	824	780		1470	※
回収数	1558	798	753	7	1348	1199
有効回答数(計)	1557	798	753	6	1334	1190
男子	782	392	385	5	668	547
女子	775	406	368	1	666	643
性別不明	1			1	14	9
無効数						
回収率	97.1%				91.7%	※

※高校については、各学校の生徒数が一番多い学級での調査実施を依頼しているため、配布数は把握不可。

2. 未成年者の飲酒・喫煙に係る指標（第2次島根県健康長寿しまね推進計画に基づく）

			<計画策定 H22年度時点>	<現状値>	<目標値>	
今までに一口でも飲酒したことがある子どもの割合	%	小学5、6年	男	50.4	30.3	0
			女	43.2	22.2	0
		中学2年	男	56.4	34.0	0
			女	53.8	31.7	0
		高校2年	男	70.0	44.8	0
			女	65.2	37.5	0
			<計画策定 H22年度時点>	<現状値>	<目標値>	
今までに一口でも喫煙したことがある子どもの割合	%	小学5、6年	男	2.6	2.4	0
			女	1.2	0.9	0
		中学2年	男	3.7	2.7	0
			女	4.6	1.8	0
		高校2年	男	13.3	3.8	0
			女	10.1	2.2	0

3. 結果の概要

- ・学習により、飲酒、喫煙の健康に及ぼす影響の認識や具体的な理解が高まっている。
- ・20歳の時の喫煙予想について「絶対吸っていない」と回答した者や、友人からのすすめに「必ず断ることができる」と回答した者が格段に増えており、健康に及ぼす影響の理解度が意識や行動に関する結果の向上につながるものと推測できる。
- ・健康長寿しまね推進計画、アルコール健康障がい対策推進計画（予定）の指標としている飲酒、喫煙の経験率は着実に低下しているが、目標には達していない。

4. 調査結果

飲酒、喫煙それぞれの調査結果については別添まとめを参照。

飲酒経験と喫煙経験の関係性についてクロス集計を行ったところ、下記グラフのとおり相互に関係性があり、喫煙経験がある生徒は無い生徒に比べ、飲酒経験が2倍以上であることが分かった。

